

【2025 事業報告書 ③】

HKFA審判委員会 女子部

都道府県審判トレセン女子審判員講演会

- 日 時 : 2025年11月9日(日) 10:00~11:45
■場 所 : かでる2・7 710会議室
■講 師 : 手代木直美氏(JFA審判マネジャー・元国際副審)
■テ ー マ : 『チャレンジすることの大切さ』
■ス タ ッ フ : 大岩真由美氏(HKFA副会長)
大石かおり(HKFA審判委員会女子部)
渡部 学(HKFA審判委員会女子部)
■オブザーバー: 藤井 陽一氏(HKFA審判委員会委員長)
■参 加 者 : 14名



5R ~一步一步着実に~

■講師 手代木直美氏より

久しぶりに北海道の女子審判員の皆さんにお会いできて、懐かしさと嬉しさを感じながら講演会を始めることができました。

これまで自分が**どんな気持ちで審判活動に向き合い、どんな経験から何を学んできたのか**を、できるだけ正直にお話しさせていただきました。楽しいことばかりではなく、つらかったり悩んだりする時期もありましたが、**どうやって前向きさを取り戻してきたのか**をお伝えしたことで、参加してくれた皆さんがポジティブに受け止めてくれて、とても安心しました。

新しいことを始めるには勇気が必要で、決して簡単なことではありません。でも、**挑戦しなければ何も動き出しません**。そうした思いに皆さんが共感してくださり、「やってみます」と言ってくれたことが、私自身の大きな励みになりました。私も**これからも挑戦し続けたい**と改めて感じています。

北海道には、助け合い、励まし合いながら、一緒に成長していける仲間がたくさんいます。一人で抱え込みすぎず、周りの力も借りながら、「**やってみたい**」と**思ったことに前向きにチャレンジし、どんどん成長していったほしい**と思います。

今回はこのような機会をいただき、本当にありがとうございました。

皆さんが夢や目標を持ち、これからも挑戦し続ける姿を、心から応援しています。



■参加者のコメント

土屋 花(2級審判員 空知FA)

今回の講演会は私にとって**沢山の学びと挑戦する勇気を持つことができました**。女性審判員として手代木直美さんの存在はとても大きく、常に目指すべき姿で憧れていました。今回このような機会に巡り会えたことがとても嬉しかったです。

挑戦すること、継続することの大切さを教えていただき自分にとっての審判員という姿を改めて見つめることができました。**サッカーだけではなく普段の生活の中でも信頼される人間でいるためにまずは自分自身を信じることを志していきたい**と思います。

今回多忙の中でも北海道に足を運んでいただいた手代木直美さん、このような貴重な時間を設けてくださった北海道サッカー協会審判委員会女子部のみなさま、ありがとうございました。

蝦名 宏美(3級審判員 札幌FA)

手代木さんの講演会に初めて参加させていただきました。お話を聞き、**失敗を恐れず、一步を踏み出す勇気が自分を成長させる**こと。そして、挑戦することの大切さを改めて感じました。国際審判として困難に直面しながらも努力を惜しまず向かっていった姿にはとても感動いたしました。

55才を過ぎてからサッカー3級審判を取得し挑戦している私ではありますが、**ここで満足することなく、日々の生活でも挑戦し続け、自分の可能性を広げていきたい**と思わせていただきました。

浜田ゆかり（4級審判員 旭川FA）

今回このような講演会に参加させていただいて、大変感謝しております。普段からネガティブ思考にはならない方ですが、審判の資格を取得するときに実技講習で完全に心が折れ、自分には到底無理と思い今に至っていますが、手代木さんのお話を聞かせていただいて、自分の考えはなんてちっぽけなんだと思い知らされました。

世界で活躍されている方のお話は滅多に聞けないことで、裏側の様子や公式試合に挑む際の過程など、想像もできないような世界を見させていただいて感動やら衝撃やら色々な感情を受けました。もっとサッカーを勉強してもっと知識を得たいとも思いました。

今後は少しずつ自分に出来ることを増やし自分の為に子供達の為に日々向上していきたいと思います。

またこのような機会がありましたらぜひ参加させていただきたいです。本当にありがとうございました。

■大岩真由美HKFA副会長より

今回は、北海道審判ファミリーの一人である手代木さんに来て頂き、なかなか聴けない貴重なお話を共有して頂きました。講話には、チャレンジする時の大切なヒントが沢山つまっていたと思います。

今回、冒頭にお話する場を頂き「北海道と日本の女性審判の歴史」をほんの少し共有させて頂きました。こんな話が出るのも、今日まで多くの女性審判仲間が審判の上級やインストラクター、更には審判委員会の役職や地域FAの役職などに挑戦したり、または自分なりに審判活動を継続・維持してくれたり、北海道の審判の歴史を継承しながら、新たなチャレンジをしてくれていること。そして、それを支えてくれている多くのサッカーファミリーの皆さんのお陰だと、しみじみ嬉しい気持ちが込み上げてきました。

最後に、国内外と忙しい中、我々のために来て頂いた手代木さんには心より感謝申し上げます。益々のご活躍を祈念しています。同時に、様々な準備、取りまとめをしてくれた女子部部長大石さんも大変お疲れ様でした。



■大石かおりHKFA審判委員会女子部長より

昨年末に手代木さんが審判員としての活動を終えるとお聞きした時、北海道の女子審判員に講演していただけないかとお願いしましたところ、即答で引き受けてくださいました。手代木さんには、すでに世界でご活躍されていた2018年・2019年にも女子部の講演会の講師をしていただきました。また、女子部以外の主催でもオンラインでお話を聴く機会もありました。審判員としての活動歴に関わらず多くの女子審判員に、手代木さんに直接お会いし、体験談などを聴くことで今後の活動の糧にしてもらえれば、と思い講演会を企画いたしました。

手代木さんは現在は宮城県在住で、北海道を離れてから10年ほど経っていますが、ワールドカップなどで活躍されている様子を見るたび、「北海道の手代木さん」という気持ちで応援していました。素晴らしい数々の経歴から遠い存在に思える手代木さんが、目の前で「チャレンジすることの大切さ」をお話ししてくださいました。私たちには経験することのない舞台の裏側や、辛さを乗り越えるために想像できないくらいの努力や葛藤を窺い知ることができ、若い審判員はもちろん、ベテラン世代の方々も「頑張ろう！」と思える、あっという間の素敵な90分でした。

現在はJFA審判マネジャーとして今まで以上に忙しい日々を送っている、とお聞きしました。また機会がありましたら、新たな経験を北海道の女子審判員に伝えてもらえると幸いです。この度は、楽しい時間を誠にありがとうございました。感謝申し上げます。

インフルエンザ等の影響もあり、参加がキャンセルになった方も多く残念でしたが、函館や旭川、北見などの遠方からも講演を聴きにきていただきました。級や地域に関わらず、女子審判員がたくさんサッカーに関わっていけるよう、今後も女子部として支援し、挑戦を応援していきたいと思います。



web研修会①

■日 時 : 2025年8月27日(水) 20:00~21:30

■内 容 : ①競技規則改正
②インターハイ参加報告

■講 師 : 村山 尚哉氏 (HKFA審判委員会指導者部長・サッカー1級インストラクター)
森 宏介 (HKFA審判委員会女子部)

■ス タ ッ フ : 大石かおり (HKFA審判委員会女子部)
宮武 宏行 (HKFA審判委員会女子部)

■参 加 者 : 阿部恵理子・土屋 花(2級審判員)
北野 詩織・猪股陽菜梨・オホーツク地区ユース審判員・札幌地区ユース審判員(3級審判員)

村山INSから、主な競技規則改正についてお聞きしました

インターハイで稼働した5名の審判員から、様々な事象や1級審判員からの学びについて報告を受けました

■参加者のコメント

北野 詩織(3級審判員)

今回初めてWeb研修会に参加させていただきました。

競技規則改正については、審判員として判定基準をあいまいにせず、改正点を理解して試合に活かす大切さを改めて感じました。また、インターハイの報告を通じて、**全国レベル大会の雰囲気や審判員同士の連携**が伝わり、予期せぬ出来事にも臨機応変に対応する姿が印象的でした。学ぶことが多く、今後の自分の活動目標につながる研修会になりました。

札幌地区ユース審判員(3級審判員)

私は今回講習会を受け、より細かい競技規則を知ることができました。特にゴールキーパーの8秒ルールについては、従来、ボールの保有は6秒であり、審判によってはカウントの速さの違いによって、すぐに反則をとり、間接フリーキックになってしまう事が多くありました。しかし、規則改正されたことで**余裕を持ってプレーでき、審判との関係性がさらに良くなる**と思うので、興味深いと感じました。

また、報告会では、色々な方と交流ができたり、上手い人の動きを見て刺激をもらえるというのを聞いて、私も積極的に参加したいと思いました。私は選手としても活動しているので、**審判をすることで得たものを選手としても活かせるように**頑張ります。